

# 2023年3月期第2四半期決算概要 通期業績予想及び配当予想の修正

2022年10月31日

伯東株式会社

(単位:百万円)	21/9期 累計	22/9期 累計	増減(△印減)	
			差異	比率
売上高	91,428	114,780	23,352	25.5%
売上総利益	11,708	16,410	4,702	40.2%
営業利益	4,171	7,200	3,029	72.6%
経常利益	4,155	7,303	3,148	75.8%
四半期純利益	2,849	5,141	2,292	80.4%
(包括利益)	3,869	5,905	2,036	52.6%
1株当たり純利益	140.02円	269.06円	129.04円	—

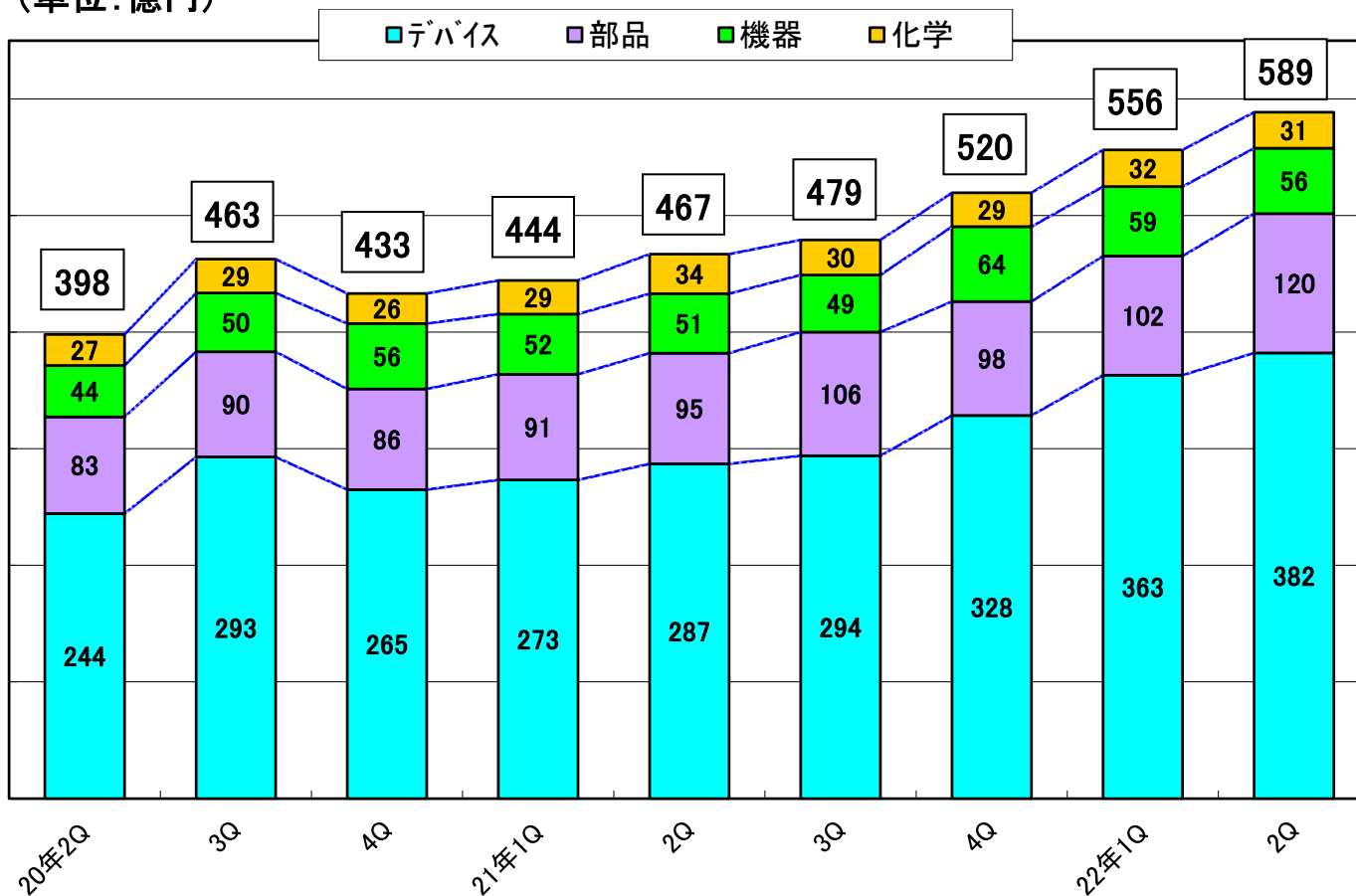
## 《当期業績の概要》

◇売上高:電子部品と電子・電気機器が増収。特に、電子部品は前期から引き続き大幅伸長

◇売上総利益:急激な為替影響等により利益率が上昇  
前期2Q 12.8% ⇒ 当期2Q 14.3%

◇営業利益以下:売上増加と利益率改善により、販管費の増加(対前年同期比+22.2%)を吸収し、第2四半期としては過去最高を計上(純利益、包括利益を除く)

(単位:億円)



## 《分野別売上高の概要》

◇化学:化粧品基剤伸長も、プラント向け工程添加剤は需要減少

◇機器:半導体設備投資需要によりPCB関連、真空機器の販売が堅調に推移

◇部品:PC、民生向けは減少も、産業機器向け部品販売が伸長

◇デバイス:車載用途及び産業機器向けICの販売が伸長

(単位:百万円)		21/9期	22/9期	増減
電子部品	売上高	74,534	96,701	22,167
	セグメント利益	1,825	5,685	3,860
電子・電気機器	売上高	10,280	11,540	1,260
	セグメント利益	1,286	1,193	△ 93
工業薬品	売上高	6,344	6,262	△ 82
	セグメント利益	938	565	△ 373
その他	売上高	614	635	21
	セグメント利益	152	156	4
合計	売上高	91,773	115,139	23,366
	セグメント利益	4,202	7,600	3,398

## 《セグメント情報の概要》

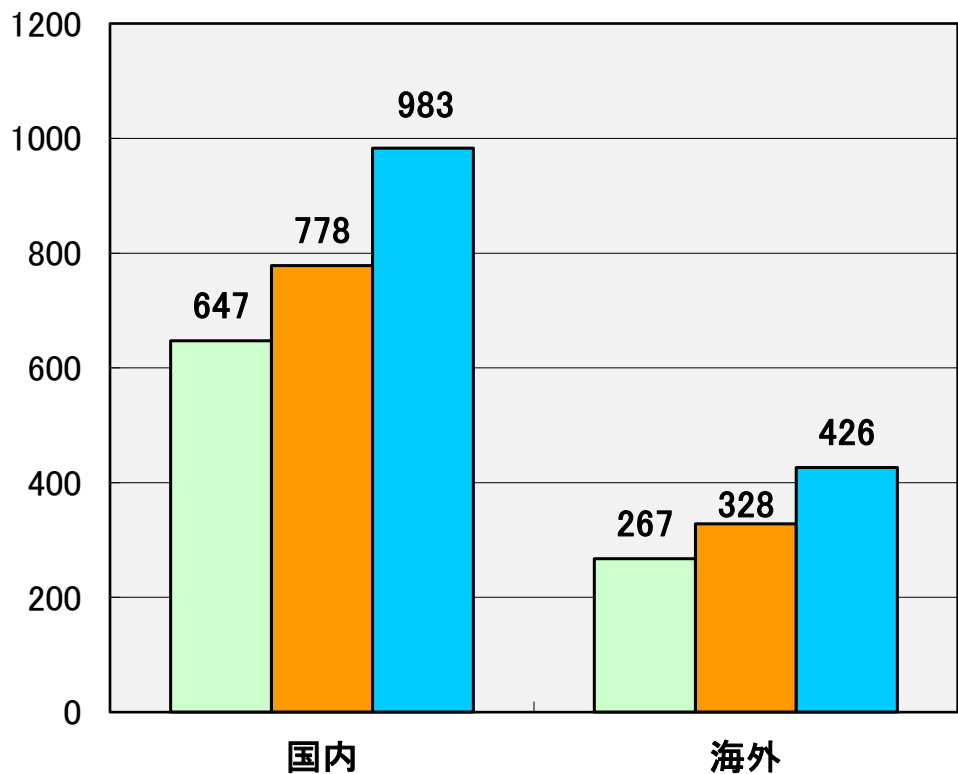
◇電子部品:車載用途及び産業機器向け販売伸長と為替影響等により増収・増益

◇電子・電気機器:半導体設備投資需要による販売増も、次世代装置の開発費用支出等により増収・減益

◇工業薬品:工程添加剤の販売減少、円安及び原材料価格上昇等により減収・減益

※1. 売上高はセグメント間内部取引消去前(同一セグメント内取引は相殺済)の金額

(単位:億円) 売上高(単純合算)



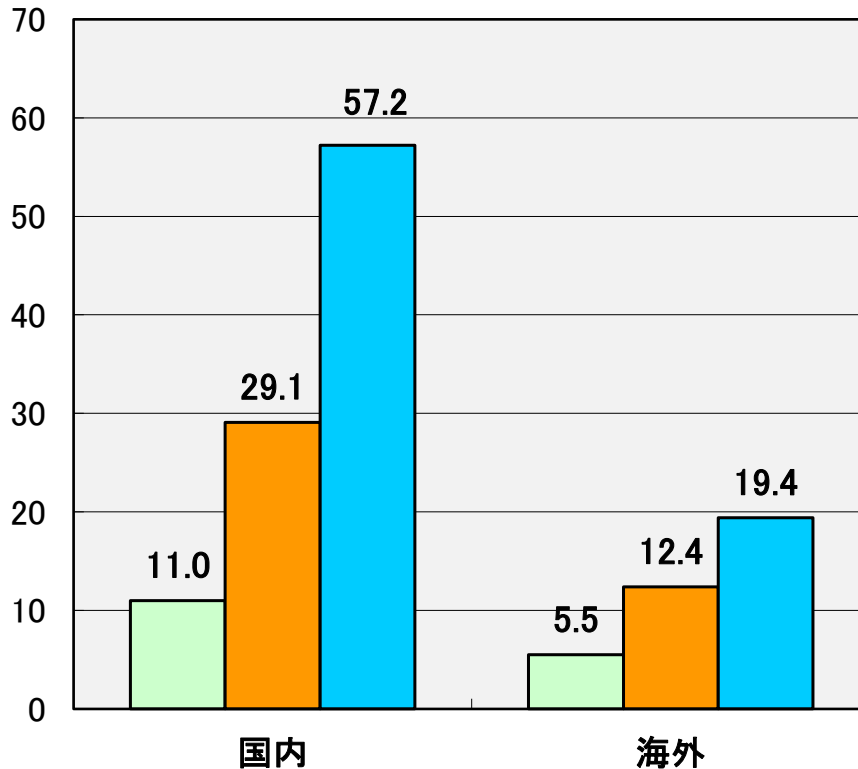
国内(伯東+連結子会社2社)

伯東、モルテック、HAL

海外(連結子会社9社):

伯東香港、上海、台湾、シンガポール、タイランド、他4社

(単位:億円) 営業利益



□ 21/3期2Q実績

■ 22/3期2Q実績

■ 23/3期2Q実績

(単位:百万円)	22/3期	22/9期	増減 (△印減)
総資産	131,490	149,264	17,774
内:現預金	18,620	18,170	△ 450
内:売上債権	50,099	57,648	7,549
内:棚卸資産	41,263	53,042	11,779
内:投資有価証券	9,632	7,998	△ 1,634
総負債	69,821	85,346	15,525
内:仕入債務	24,515	29,077	4,562
内:有利子負債	33,135	44,725	11,590
純資産	61,668	63,917	2,249
自己資本比率	46.9%	42.8%	—

## 《主な増減理由》

- ◇現預金:連結CF参照
- ◇売上債権:売上増に伴う増加
- ◇棚卸資産:仕入増及びBCP在庫保有に伴う増加
- ◇投資有価証券:保有株式の株価下落による減少
- ◇有利子負債:運転資本増に伴う増加(短期借入+74億円、長期借入+42億円)
- ◇純資産:四半期純利益+51億円、為替換算調整勘定+19億円、配当△20億円、資本剰余金(自己株式消却等)△17億円、有価証券評価差額△11億円

(単位:百万円)	21/9期	22/9期	増減 (△印減)
営業キャッシュ・フロー	741	△ 8,989	△ 9,730
投資キャッシュ・フロー	△ 243	△ 239	4
財務キャッシュ・フロー	338	7,932	7,594
換算差額	62	846	784
現金・現金同等物の増減額	898	△ 449	△ 1,347

現金・現金同等物の四半期末残高	18,765	18,170	△ 595
-----------------	--------	--------	-------

## 《今期の主な内訳》

◇営業CF:税前利益+73億円、仕入債務増加+41億円、売上債権増加△58億円、棚卸資産増加△107億円、法人税支払△19億円

◇投資CF:固定資産取得△2.5億円

◇財務CF:借入による収入(純額)+117億円、配当金支払△20億円、自己株式取得△18億円

## ■通期業績予想の修正(2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	197,000	7,000	6,900	5,000	254 82
今回修正予想(B)	227,000	12,000	11,700	8,000	418 61
増減額(B-A)	30,000	5,000	4,800	3,000	-
増減率(%)	15.2	71.4	69.6	60.0	-
22/3期実績	191,495	7,304	7,411	4,970	248 48

◇売上高:電子部品事業において自動車、産業機器を中心に半導体需要の堅調継続を見込む。

電子・電気機器事業においても半導体製造関連の活発な設備投資の継続を見込む。

◇利益面:売上高の増加に伴う利益増と主に電子部品事業における円安の影響等による利益率の改善により各利益とも増加を見込む。



	年間配当金			配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第2四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
前回予想	80 00	80 00	160 00	—	62.8	—
今回修正予想	120 00	130 00	250 00	—	58.8	—
前期実績 (2022年3月期)	60 00	100 00	160 00	3,182	64.4	5.4

\* 2023年3月期の年間配当は第2四半期末配当、期末配当いずれも 普通配当を予定

◇株主還元方針:中期経営計画(2021年4月公表)は配当と自己株式の取得により「総還元性向100%」を目標とする。

◇年間配当予想:自己株式の取得額とのバランスを考慮し、1株当たりの年間配当を250円とする。連結配当性向は58.8%の見込み。

## ■ 自己株式の取得について

- |                            |   |                       |
|----------------------------|---|-----------------------|
| (1) 取得対象株式の種類              | : | 当社普通株式                |
| (2) 取得し得る株式の総数             | : | 50万株(上限)              |
| (3) 発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合 | : | 2.62%                 |
| (4) 株式の取得価額の総額             | : | 15億円(上限)              |
| (5) 取得期間                   | : | 2022年11月1日～2023年4月30日 |
| (6) 取得方法                   | : | 東京証券取引所における市場買付       |

◇自己株式の取得:本年5月実施分(18億円)+今回実施予定分(15億円)=合計33億円

◇年間の配当予想:1株当たり250円、配当総額47億円



当期純利益80億円の予想に対し、総還元性向100%となる見込み

本資料にて記載されているデータ及び将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により変化する可能性があります。従いまして、本資料は記載された目標・予想の達成及び将来の業績を保証するものではありません。

< IRに関するお問合せ先 >

経営企画部 tel.03-3225-8931